

やまがた **学校給食だより**

第1号  
平成17年11月1日

【編集・発行】  
財団法人 山形県学校給食会  
〒990-0051 山形市銅町一丁目2-12  
TEL.023-622-0938 FAX.023-631-0961  
<http://www.yamagaku.or.jp>




## 発刊にあたって

財団法人山形県学校給食会  
会長 佐藤 敏彦

日本の学校給食は、明治22年山形県鶴岡町の小学校で昼食を児童に提供したことが起源とされています。すでに百十数年の歴史をもつ学校給食ですが、改めて意義を考えてみる必要があるのではと感じています。

学校給食は、学校給食法の制定を機に教育活動の一環として実施されています。からだの栄養のみならず、心の栄養をも補い、その活動を学校だけにとどめず、家庭へ、そして、子どもたちの将来へとつなげることが大切だと考えています。

しかし、今、子どもたちの食事の様子を思い起こすと、何か大切なものを忘れてるように思われます。日々繰り返される食事が、当たり前のように提供され、無意識に口に運ばれている。食事に込められた思い、食事することによる価値をみすみす捨ててしまっていないでしょうか。

私たちは、「栄養のバランスの取れた食事」「一緒に食べる人のいる食事」「動植物のいのちをいただく食事」「思いをかみ締める食事」などにこだわり、意識し、「食を通した人づくり」をすすめてくなくてはならないと思います。そして、学校だけでなく、家庭においても、豊かな食の営みが行なわれることが大切だと考えています。

このような、食に関する取組が注目をあびる中、「やまがた学校給食だより」を発刊し、学校給食関係者にお送りすることとしました。山形県学校給食会としても、学校給食の大切さ、そして、学校給食を支えている人々の様子や様々な活動をお伝えし「食育」の推進の一助にしたいと考えています。ぜひ、ご活用をお願いいたします。また、皆様とのコミュニケーションを密にしたいと希望しておりますので、ご意見などをお寄せいただくようお願いいたします。

## パン・米飯 品質向上協議会

この協議会の趣旨は日頃供給されているパン・米飯に関する問題点の解消並びに製法上の検討・研究をおこない、より一層の品質向上を図ることをねらいに県教育委員会、県学校給食パン炊飯協会、県学校給食会が主催となり、各学校給食関係者（教育事務所、給食主任、市町村担当者、委託工場）の参加をいただき、1年おきに開催しております。

今年度は9月2日～30日にかけて4管内で開催されました。

今年度の協議会の内容は学校給食用パン・米飯についての講話、試供パン・米飯の試食及び意見交換、日頃供給されているパン・米飯に対する評価等について協議を行いました。

講話として県学校給食パン炊飯協会大浦会長より学校給食用パンと市販パンとの違いについてや学校給食に係わってから50年の経験談、学校給食にかかる熱き想いなどを語っていただきました。

参加者からは改めて主食として栄養的に配慮した学校給食用パン・米飯に対して再認識をしていただ

き、今後の給食指導に役立てていきたいとの感想も出されました。

また、日頃供給されているパン・米飯に対する評価等についての協議では、各々の立場から意見を出し合い、今後の品質向上につながる有意義な協議会でありました。

なお、今年度は協議会開会の前に製造工場の視察を実施し、パン・米飯の製造に係わる工程についても理解を深めていただきました。

### 〔各管内協議会日程、参加者〕

- 置賜地区 開催日 9月2日 参加者 31名
- 村山地区 開催日 9月9日 参加者 43名
- 最上地区 開催日 9月16日 参加者 31名
- 庄内地区 開催日 9月30日 参加者 31名



最上地区品質向上協議会(最上広域教育研究センター 9月16日開催)

## 平成17年度

### 第2回学校給食用パン抜取検査

平成17年10月7日(金)に山形県学校給食会会議室において第2回の抜取検査を開催いたしました。基本配合の品質及び技術の向上を図る為、年3回実施しております。東北農政局山形農政事務所・山形県教育委員会の担当者の方々に15の委託製パン工場対象に、管内毎の学校等から抽出したパンで種類別審査検討をいたしました。さらに本会の検査室で検査対象となった20検体全てについて細菌検査をも実施し、問題のないことを確認しております。なお、パン抜取検査成績表については関係機関に通知いたし

ておりますのでご了承ください。

今回のパン抜取検査の検査総評を検査官の渡部管理官と大浦パン炊飯協会会長よりいただきました。



#### 東北農政局山形農政事務所 渡部管理官

食パン・コッペパン・多様化パン毎に区分し、それぞれ、外観・内層について、審査を行いました。

毎回、品質の高いパンが提出され、各工場の技術の高さに感心しております。

特に今回は、多様化パンで「職人技」を感じさせられる素晴らしいパンがあり、子供達も喜んで食べると思います。

今後とも、喜ばれる高品質なパン作りを期待しております。

#### 山形県学校給食パン炊飯協会 大浦会長

抜取検査が開催されるごとに、パン炊飯協会の立場で出席しておりますが、委託製造工場の使命である「安全・安心」を第一にパン、米飯の製造・供給に「全工場心をつ」にして邁進しております。今回のパンも全工場共、品質的に差はなく気持ちの伝わるパンの出来でありました。今後とも委託製造工場としての使命を果しながら学校給食関係者との連携を密にして児童・生徒から喜んでもらえるパン、米飯の供給に努めていきたいと思っております。

# 新上市市学校給食センターのご紹介

## 念ずれば花開く

**HACCP概念導入施設**  
最新設備と徹底した安全管理で  
おいしい給食をお届けします。



当市の学校給食センターは、施設の老朽化に伴う食の安全の確保、強い市民要望として中学校給食の実現の課題がありましたが、建設財源の確保が難しく延び延びになっていました。

平成11年PFI法が施行され新たな公共施設の整備手法が新設されました。これは民間の資金とノウハウを導入することにより事業費支払いの均一化が可能のため、初期投資を抑えることが出来ますので財源の確保に目途が立ちました。

平成14年度に従来手法とPFI手法のどちらが有利かPFI可能性導入調査を行い、平成15年度には実施方針、募集要項等を策定して事業者の選定を行

いました。

平成16年度に建設工事、平成17年4月完成し供用を開始しました。計画したものは早期に実現できるのもPFI事業の特徴の一つです。

この事業は、事務的にボリュームもあり仕様書発注からなじみの無い要求水準による発注になるので難しさもありますが、先進事例やコンサルからの支援もあり「案ずるより産むが易し」です。

こだわりが強い性格と時が満る時期にその職責にあって多くの方々のご協力とご理解があって学校給食センターを早期に実現することが出来ました。感謝をしているところです。

今後とも安全でおいしい給食を未来を担う子供たちに届けていきたいと考えています。



〈上市市学校給食センター 中村益士センター長〉

## 食品検査室だより

より安全をめざして

今年の夏休み期間中に、3市2町の学校給食関係者を対象に本会の長岡検査技師より、「食品衛生」および「食中毒防止対策」等についての講義がおこなわれました。



食中毒の最も発生しやすい時期でもあり受講された方は、大変関心をもって講義を受けられました。

右記の表は、平成17年4月～9月までに本会検査室にて実施しました、本会取り扱い物資の検査内容、市町村共同調理場および学校等から依頼を受けた検査内容、講習会等における品質管理指導内容を表したものです。

なお、検査を依頼される場合は「学校給食用物資等検査依頼書」にご記入の上、検査室までお申し込み下さい。

平成17年度食品検査実績

区分	対象物資	年間計画 検体数	実績検体数 (4~9月)	備考
本会取り 扱い物資 の検査	常温物資	450件	222件	その他 ・配送車、 手指の拭 き取検査 ・パン抜取 検査 ・混入異物 の細菌検 査
	低温物資	250	132	
	冷凍食品	800	286	
	その他	100	81	
小計		1,600	721	
市町村共 同調理場 学校等か らの依頼 検査	希望する 食品・食 器具等 その他	400	細菌検査 432 理化学検査 145	理化学検査 澱粉・蛋白・ 脂肪
	小計	400	577	
講習会等 における 品質管理 指導	学校給食 関係者 その他	市町村 県教委 その他	188名	
合計	検体数	2,000	1,298件	
	講習会 管理指導		5市町村 2県教委 188名	

# 物資研究委員会

## 物資研究委員会とは？

学校給食の食事内容の充実と多様化に伴い、本会が取り扱う物資の選定および開発物資について研究を行い、物資供給業務の適正円滑化を図ることを目的としています。

### 委員の構成

県教育委員会	2名
学校給食共同調理場	2名
学校給食主任	2名
学校栄養職員	12名

計18名で構成されており、任期が2年となっています。

このたび、9月1日付けで委員が改選となりました。これまで物資の選定及び開発にご尽力をいただきました委員の方々、誠にありがとうございました。

また、新たにご就任いただきました委員の皆様どうぞよろしくお願いたします。

なお、10月はじめに平成17年度第1回物資研究委員会がおこなわれ、新たな物資が選定されましたのでご案内いたします。詳細につきましては、平成17年10月付の「学校給食用物資だより」をご覧ください。

## 学校給食用物資研究委員会名簿

◎委員長 ○副委員長 平成17年9月1日

区分	氏名	所属	
学校給食共同調理場	○秋庭 正典	藤島町ふれあい食センター	
	結城 悦子	中山町学校給食共同調理場	
学校給食主任	○小塚 郁子	山形市立金井小学校	
	吉田 博子	山形市立第八中学校	
学校栄養職員	◎大山悠紀子	村山市立楯岡小学校	
	東南村山	矢萩美枝子	山形市学校給食センター
	〃	石山 英代	天童市学校給食センター
	西村山	橘 綾子	寒河江市立柴橋小学校
	北村山	井上亜恵美	大石町学校給食センター
	最上	菊地 美香	新庄市立沼田小学校
	東南置賜	鈴木美貴子	米沢市立西部小学校
	西置賜	星野 祥子	長井市学校給食共同調理場
	庄内(田川)	難波 洋子	鶴岡市学校給食センター
	〃	小松亜紀子	庄内町立余目第二小学校
庄内(飽海)	杉原 順	酒田市立浜田小学校	
県立学校	高橋 茜	県立上山高等養護学校	
山形県教育委員会	相馬 紀雄	県スポーツ保健課	
	丹野志津子	〃	

## 新規取扱い物資



にじますフライ  
50g



薄衣サーモンカツ  
50g・60g



カットベーコンIQF  
500g



鯨本皮スライス  
(2mmカット)500g



トロピカルフルーツ  
2.8kg



## 公式ホームページを開設しました

山形県学校給食会のホームページを開設しましたのでお知らせします。

<http://www.yamagaku.or.jp>

当会の概要、貸与事業等の情報を網羅しております。ぜひアクセスをお待ちしております。

## お知らせコーナー

### 総額表示方式について

平成16年からスタートしております「総額表示方式」を本会も平成18年度より内税表示方式で、事務処理を執行いたします。「一般・基本物資売渡価格一覧表・納品伝票の単価の表示」「請求書の計算等」が変更になります。

## 編集後記

このたび「やまがた学校給食だより」第1号を発刊することになりました。学校給食だよりを通して財団法人山形県学校給食会の業務内容及び業務取組みをご理解いただくとともに、これからもなお一層公益法人としての職務を全うしてまいります。また、本号発刊に際し、ご多忙にもかかわらず、快くご寄稿をお引き受けいただきました関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。今後とも、皆様からのご協力をいただきながら発刊していきたいと思っておりますので、ご意見・ご感想をお待ちいたしております。

## 表紙

明治22年山形県の鶴岡町（当時）私立忠愛小学校で貧困児童を対象に無料で給食が実施されました。これが、わが国における学校給食の発祥とされています。表紙右上は、学校給食70周年を記念（昭和34年11月6日）として、鶴岡市にある大督寺に建立された学校給食発祥記念碑です。

また、左の建物は昭和57年に竣工された山形県学校給食総合センターです。総合センター場所の詳細については、インターネットでご覧ください。